

平成30年度（第42回）丹羽保次郎記念論文賞受賞候補者募集要項

1. **対象となる論文** 情報工学、電気工学の関連分野を含む、広い意味の電子通信工学関係論文のうち、次に該当する若手研究者の論文を対象とします。
なお、同一論文の応募は一回限りとします。
 - (1) 掲載期間 平成28年9月1日～平成30年8月31日
 - (2) 著者 応募者の単著、又は共著の場合には本人の寄与が大部分のものとしします。
 - (3) 次のような学会誌に掲載された1論文を対象とします。
電子情報通信学会、電気学会、映像情報メディア学会、日本音響学会、情報処理学会、応用物理学会、日本物理学会、IEEE等国内外の学会の学会誌及び論文誌等※ 電子ジャーナルの場合は、応募にあたり、学会、出版社、掲載誌等からの受理通知等の写しを添付することが必要になります。
2. **申請者の資格** 大学院学生（修士課程及び博士課程）
大学院修了又は満期退学後2年（応募時において）以内の者
3. **推薦** 推薦者は大学院研究科委員長或いはそれに準ずる職の方とします。
注意：国内大学・研究機関からの推薦にあつては、推薦者の公印を押印すること。海外大学・研究機関からの推薦にあつては、推薦者の自筆サインのある推薦状を別途添付すること。）
4. **審査** 審査は審査委員会（審査委員長：東京電機大学長 安田浩）において、提出された書類を中心に行います。
5. **選考基準**
 - (1) 論文の独立性・独創性・工学的有効性の見地から判断します。ただし、この賞は大学院生あるいは最近の修了者が著者である若手研究者の論文を対象としていますので、実用的価値については広い意味で将来実用につながるものが考えられれば結構です。
 - (2) 選考に当たっては、単に対象論文だけでなく、本人の過去の業績、論文、特に学会等で発表された場合の口頭発表者が誰であったか等も参考にします。
 - (3) 論文としてのまとまりを見ます。
 - (4) 実学を尊ばれた丹羽保次郎博士の賞に相応しいものを選考します。
6. **受賞者の決定**
 - (1) 受賞者の決定は本年度中に行い、受賞者とその推薦者に郵便をもって通知します。
 - (2) 受賞者は原則として2名以内とします。
 - (3) 受賞者には本賞と副賞を贈呈します。
7. **提出方法および提出期限**
 - (1) 論文を含む全ての提出書類は、PDF形式にしたものをemailに添付し、下記担当までお送りください。申請書式は下記URLからダウンロードできます。
URL: <https://www.dendai.ac.jp/about/tdu/activities/research/niwa.html/>
 - (2) 推薦書の提出期限は 平成30年9月7日（金）必着 とします。

以上